

Welcome back to OCHADAI !

ホームカミングデイグラフィレポート



新制お茶の水女子大学の開学記念日に当たる5月31日、全学体制での第一回ホームカミングデイが開催され、平日にもかかわらず500名以上の卒業生の方々が参集されました。天候に恵まれたなかで、現役学生が案内役を務めてのキャンパス・ツアーが、6回にわたり実施されました。

徽音堂では、藤原正彦教授の特別講演「祖国とは国語」、名誉学友記贈呈式、徽音堂改修募金の中から郷学長の徳憑により今春購入されたドイツ・スタインウェイ社ピアノのお披露目も兼ねた、音楽表現学コース学生による演奏会がおこなわれました。また歴史資料館と図書館も公開され、とくに歴史資料館では、昨年度開始された「歴史資料館施設整備募金」によって整備された貴重な資料が、多数公開されました。

こうした全学の企画のほか、卒業生と教員の合同懇親会や、お茶の水女子大学後援会総会、そして学部ごとの企画としての名誉教授による講演会や特別講義が、多彩に開かれました。各サークルを中心に学生企画も多数登場し、卒業生との世代を超えた交歓の様相が終日繰り広げられました。

Welcome back to OCHADAI !

ホームカミングデイグラフィレポート

